

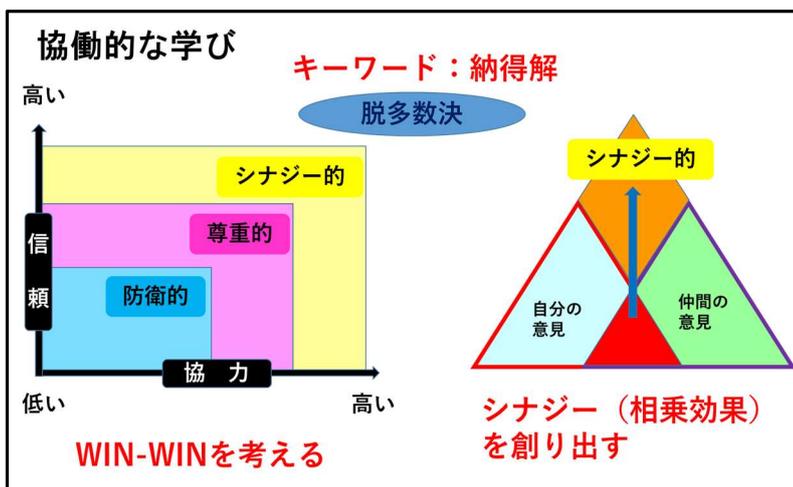


2021年度から2022年度へ

帝京大学小学校 校長 石井 卓之

いよいよ3月、進級、進学の時が近づいてきました。「まだひと月もある」「もうひと月しかない」という考え次第で、行動が大きく変わることは周知の事実です。「1年間のまとめをしよう。」もありますし、「来年に向行けて〇〇をしよう。」ということも可能です。この1年間、子どもたちには繰り返し話をしてきましたが、「ゴールイメージ」を明確にもって取り組んでほしいと思います。

さて、大人もそうですが学校生活の中でも当たり前にも多数決で決まることが多く



あります。すべてが悪い訳ではありませんが数の論理に頼りすぎると、何も考えずにすぐに多数決をとるようになってしまいます。特に学級会や話し合いのとき、いろいろなことを決めるときにキラッと光るアイデアが単なる数の多さで消え去る場面があります。教師は助け舟を出してそのアイデアが生かされるように働きかけますが、いつも成功するとは限りません。少数の意見の中にある価値に気づき、多くの意見の中にどう取り入れてよりよいものにしていくのか、そこに協働性があり、よりよいシナジー（相乗効果）が納得解としてできる重要な過程だと考えています。この過程を経るには、かなりの時間を必要としますので、毎回ではできません。でも、「WIN-WIN」を意識し、仲間の意見と自分の意見のよさを認め合いながらよりよいものを創り出すことは重要となります。次年度は、学校全体でここを目指していきたいと思います。

最後に、2021年度の新たに取り組んだ特色ある教育活動を振り返りたいと思います。

キャリアパスポートデー

全12社・団体等による、体験的な学び。その企業・団体等の得意とする技術やものづくりを子どもたちに提供してもらいながら、働くことの意味についても触れてもらいました。

企業連携授業

4年生：ソニーミュージックエンタテインメントとt o i o（トイオ）を活用したプログラミング教育とミュージシャンとのコラボレーション

5年生：資生堂の日焼け予防教育、大塚製薬の熱中症予防教育

6年生：セガのぷよぷよプログラミング体験とeスポーツ、ワコールのつぼみスクール（3月1日実施予定）

ゲストティーチャー

3年生：元ベネズエラ大使夫人による音楽を通じた平和教育（2月28日実施予定）

5年生：YouTuberサポート会社社長の学ぶことの意義についての講演

来年度は、2月の学年だよりでもお知らせした「ポンポコ山」を学びのフィールドとしたSTEAM教育も始まります。活動の過程で、今以上に自分の頭を使って考え、協働的な学びを進めていける子どもを育成したいと考えています。